

令和6年11月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,147	241,893	243,800	242,771	△ 1,907	△ 878
2 調定水量	m ³	608,362	4,953,294	5,051,000	5,048,902	△ 97,706	△ 95,608
3 調定料金(税抜)	円	185,349,301	1,509,625,200	1,521,000,000	1,400,716,155	△ 11,374,800	108,909,045
4 口振加入件数	件	24,664	198,125	—	199,490	—	△ 1,365

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,301	154,199	154,620	152,633	△ 421	1,566
6 調定水量	m ³	389,224	3,100,331	3,051,240	3,096,421	49,091	3,910
7 調定料金(税抜)	円	81,315,527	593,461,776	597,960,000	511,936,307	△ 4,498,224	81,525,469

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	72,532	—	73,989	△ 1,457
9 給水件数	件	30,000	—	30,009	△ 9
10 開栓処理件数	件	186	1,853	1,841	12
11 閉栓処理件数	件	226	1,848	1,941	△ 93
12 給水工事設計審査	件	29	266	355	△ 89
13 給水工事竣工検査	件	44	373	438	△ 65
14 経年メーター交換	件	579	3,627	2,921	706
15 メーター口径変更	件	2	15	28	△ 13
16 督促状発送数	件	1,417	11,256	10,825	431
17 月末停止件数	件	119	—	108	11

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	18	175	223	△ 48
19 排水設備工事完了検査	件	19	176	223	△ 47

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	B-D	R 4	R 3
20 当年度分	216,673,643円	86.95%	217,730,651円	85.87%	1.08%	87.06%	87.21%
21 過年度分	3,056,945円	98.50%	3,519,626円	98.09%	0.41%	98.17%	97.93%
22 計	219,730,588円	-	221,250,277円	-	-	-	-

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	B-D	R 4	R 3
23 当年度分	109,680,264円	83.20%	92,110,896円	83.66%	△0.46%	85.35%	85.59%
24 過年度分	728,990円	99.21%	734,229円	99.04%	0.17%	99.17%	98.68%
25 計	110,409,254円	-	92,845,125円	-	-	-	-

7 受益者分(負) 担金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	B-D	R 4	R 3
26 当年度分	3,065,400円	89.74%	3,275,200円	88.37%	1.37%	91.33%	89.36%
27 過年度分	1,134,300円	19.79%	1,273,500円	26.88%	△7.09%	16.50%	12.48%
28 計	4,199,700円	-	4,548,700円	-	-	-	-

特 記 事 項

1. 11月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は203,884千円(税込)で、前月期に比べて484千円の増、対前年同月比では1,427千円の減となっています。営業収益は204,147千円、営業外収益は事務手数料や雑収益として5,575千円、特別利益として74千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など83,165千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金として1,718千円の執行となりました。支出は、建設改良費として調査設計費や事務費など90,501千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は88,893千円(税込)で、前月期に比べて967千円の増、対前年同月比では11,125千円の増となっています。営業収益は88,903千円、営業外収益は、預金利息や雑収益として33千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など83,627千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、受益者分担金及び負担金や県補助金として、30,812千円となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など74,607千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 指定給水装置工事事業者会議及び排水設備等工事公認業者講習会を開催

11月22日(金)に令和6年度登米市指定給水装置工事事業者会議及び令和6年度登米市排水設備等工事公認業者講習会を水の里ホール・Abehisou(登米祝祭劇場)で開催しました。市内外の関係業者131社が出席のもと、令和7年4月に改定する登米市水道事業加入金の徴収に関する規程の説明や、各種申請・届出の提出時期と添付書類、間違いが多い様式事例などの説明を行いました。この会議及び講習会は、適正な給水装置工事及び排水設備工事を行ってもらい、各種申請手続きや補助制度等を周知することで、公認業者及び責任技術者の知識を深めていただくことを目的に、毎年開催しています。



【会議及び講習会の様子】

(2) 水道週間作品コンテスト受賞者表彰式を開催

11月26日(火)に第66回水道週間作品コンテスト受賞者表彰式を登米市役所登米庁舎で開催しました。コンテストには市内小中学生などから435点の応募があり、審査の結果27名が入賞し、上下水道部長から一人ひとりに賞状と記念品が授与されました。また、入賞作品から日本水道新聞社主催の第66回水道週間協賛懸賞に出品したところ、作文の部と習字の部において計2名が入選しました。



【表彰式の様子】



【入選作品の朗読】



【受賞者の記念撮影】

令和6年11月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	801,979	6,626,906	6,431,600	6,583,129	195,306	43,777
総配水量	749,517	6,157,436	5,999,620	6,137,168	157,816	20,268
1 有効水量	647,132	5,266,359	5,339,190	5,339,487	△ 72,831	△ 73,128
(1) 有収水量	612,797	4,988,850	5,068,200	5,084,441	△ 79,350	△ 95,591
(2) 無収水量	34,335	277,509	270,990	255,046	6,519	22,463
2 無効水量	102,385	891,077	660,430	797,681	230,647	93,396
(1) 漏水量	100,998	888,043	655,420	793,473	232,623	94,570
(2) その他無効水量	1,387	3,034	5,010	4,208	△ 1,976	△ 1,174
3 有収率	81.76%	81.02%	84.48%	82.85%	△ 3.45%	△ 1.83%

※ 当月期の最大配水量は、11月8日（金）に記録した【26,365m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
浄水施設整備事業	9	693,354	9	666,811	1	11,661	14,882	97.9%
配給水施設整備事業	43	1,240,217	22	875,017	3	51,379	313,821	74.7%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 保呂羽浄水場再構築事業 安全祈願祭を開催

11月20日（水）、保呂羽浄水場において、熊谷市長、丸山副市長、関市議会議員、市議会総務企画常任委員会委員、工事関係者など約50名が出席し、安全祈願祭を開催しました。

熊谷市長が、「十分な現場管理と安全対策を実施され、持てる技術を存分に発揮して、安全安心な水道水を安定して供給できる施設を建設していただくようお願いする」と挨拶をして工事の安全と早期完成を願いました。



【録入れの様子】



【安全祈願祭の様子】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	35	79.460
	付属施設	0	0.000
	給水装置	87	69.316
	計	122	148.776

【漏水調査結果：4月～10月（累計）】
 ※参考：漏水量削減効果（金額換算）
 約976,352円/日当たり
 算定：R5年度給水原価 291.08円
 累計漏水量 139.760m³/h
 139.760m³/h × 24h × 291.08円

2 許可工作物（下り松取水塔）の点検を実施

11月7日（木）、許可工作物（下り松取水塔）の維持管理状況について、国土交通省北上川下流河川事務所の職員2名と上下水道部職員2名で、点検を実施しました。

点検の結果、異常は確認されませんでした。この点検は、年1回行っており、今後も適切に維持管理を行ってまいります。

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)	対前年度 (B)-(C)	
公共下水道（迫・中田・登米・南方）	234,958	2,012,085	2,117,731	△ 105,646		1処理場
特定環境保全公共下水道	49,788	426,126	412,085	14,041		3処理場
米谷・錦織処理区	10,099	92,370	86,108	6,262		
豊里処理区	28,901	242,149	238,288	3,861		
津山処理区	10,788	91,607	87,689	3,918		
流域関連特定環境保全公共下水道（石越）	11,645	94,406	98,415	△ 4,009		
農業集落排水	97,953	903,555	894,452	9,103		24処理場
迫地区	7,457	67,268	67,426	△ 158		
東和地区	2,637	22,050	22,256	△ 206		
中田地区	28,824	258,415	253,571	4,844		
豊里地区	1,819	15,885	15,495	390		
米山地区	38,914	385,472	378,015	7,457		
南方地区	18,302	154,465	157,689	△ 3,224		R6.4.1時点
浄化槽（特地・個排）	44,087	356,129	351,060	5,069		2,163基
合計	438,431	3,792,301	3,873,743	△ 81,442		

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	10	723,015	6	567,237	0	6,866	148,912	79.4%
ポンプ施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
処理施設整備事業	61	570,908	20	386,848	24	45,407	138,653	75.7%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 マンホール付近の段差解消の実施

中田町石森字本町地内の市道において、道路上に段差が確認されており通行の際に一部支障となっていたマンホール付近について、事故発生の防止と、通行車両の安全を確保するため、段差解消を目的とした舗装補修を実施しました。

今後も市内における下水道施設において安全・安心を確保するよう、適切な維持管理を行ってまいります。



【作業状況】

2 中田町宝江新井田地区外の舗装復旧工事に着手

11月19日（火）に中田町宝江新井田地区外舗装復旧工事（2工区）に着手しました。この工事は、過年度に管渠の埋設を実施し仮復旧の状態だった中田町宝江新井田地区外の道路舗装の本復旧工事（施工延長L=216.1m, 舗装面積A=871m²）を行うものです。今後も継続して仮復旧の状態となっている道路舗装の本復旧を実施する予定です。

○浄化槽整備事業受付状況
(11月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
52	41	11